

# チャの新害虫 チャトゲコナジラミ\*の 防除マニュアル

～秋冬期防除編～

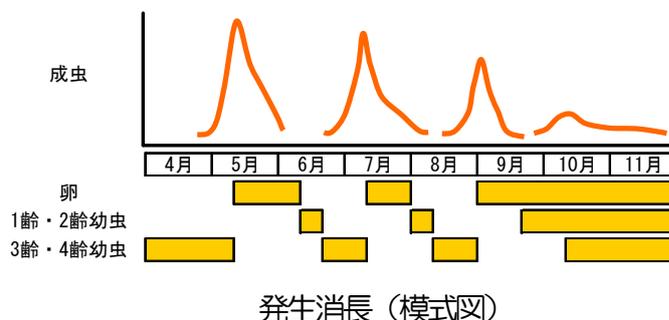


\*チャを効害するミカントゲコナジラミ（チャ系統）は、新種「チャトゲコナジラミ」であることが明らかになりました

# 1. チャトゲコナジラミの発生消長と越冬

チャトゲコナジラミは、年に3~4回発生します

- ◆ その年の気候や地域により発生回数が異なります
- ◆ 春期の発生は、一番茶新芽の生育期とほぼ一致します



チャトゲコナジラミは、成虫以外の発育態で越冬します

- ◆ 若齢幼虫および卵のほとんどは、冬の寒さで死亡します
- ◆ おもに3齢、4齢幼虫で越冬した個体が、翌春に成虫になります



幼虫（各発育態が混在）

# 2. 防除が難しい理由，秋冬期防除の効果が高い理由

## 理由1

- ◆ 葉裏に寄生する
- ◆ 古葉に多く寄生する

だから・・・

- 農薬がかかりにくい
- せん枝後も虫が残る

## 理由2

- ◆ 成虫が飛翔する
- ◆ 増殖力が強い

だから・・・

- 防除を逃れる虫がいる
- 成虫の飛び込みがある
- 残った虫がすぐ増える

## 理由3

- ◆ 防除適期（1齢，2齢幼虫期）が短い
- ◆ 防除適期の判断が難しい

だから・・・

- 適期防除が難しい

そこで、**秋冬期防除！**

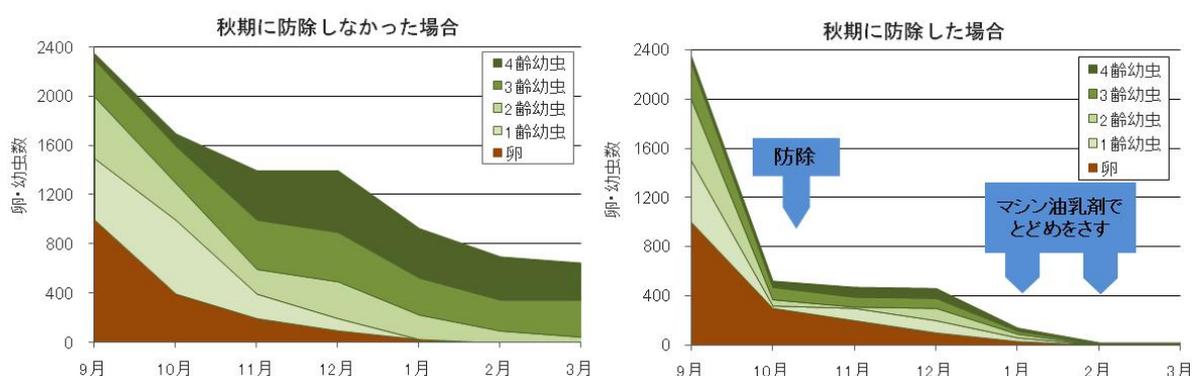
時間に余裕がある農閑期に丁寧な農薬散布を心掛けましょう

飛び込みや増殖のない冬期に徹底防除しましょう

卵から3齢，4齢幼虫にまで有効なマシン油乳剤を使って効果的な防除をしましょう

### 3. 秋冬期の防除体系例とそのねらい

時 期	標準体系	赤焼病が心配な茶園での体系
9月下旬10月頃 (若齢幼虫発生期)		化学農薬による防除 * 秋期の防除で越冬量を減らします 特に冬期に3齢、4齢になる虫を減らすようにします
1月頃		マシン油乳剤を散布
2月頃	マシン油乳剤を散布	カスガマイシン・銅水和剤を散布 (赤焼病の発生確認後、すぐに)



越冬量および齢構成と秋期防除の関係（イメージ図）

### 4. マシン油乳剤の利点と注意点

#### ■ 利点

- 3齢、4齢幼虫にも効果があり、防除適期が長い
- 農閑期である冬に散布できる
- 害虫に農薬抵抗性につかない
- 天敵に悪影響が小さい
- カンザワハダニの同時防除も可能
- 低コスト
- 有機JAS認定栽培で使用可能

(平成21年8月27日農林水産省告示第1180号)

#### ◆ 注意点

- ◆ 赤焼病が助長されることがある  
(鹿児島農総セ茶業部)
  - 赤焼病の常発茶園や幼木園では使用を避ける
  - 1月から3月に散布することで、助長の程度は軽くなる
- ◆ 古葉に薬害（油浸）を生じることがある
- ◆ 銅剤との近接散布で薬害の恐れがある

#### チャトゲコナジラミに適用のあるマシン油乳剤（秋冬期使用分）

トモノールS (マシン油97%乳剤)	50~100倍希釈 散布時期：10月~3月、萌芽4週間前まで
ラビサンスプレー (マシン油98%乳剤)	75倍希釈 散布時期：10月~3月、萌芽4週間前まで

## 5. 防除時の注意事項

- ◆ 農薬散布前には整せん枝やすそ刈りなどを行うと、
  - ◆ 農薬がわかりやすくなります
  - ◆ 寄生葉を物理的に除去するので、密度を減らすことができます
- ◆ 化学合成農薬による防除には、
  - ◆ チャトゲコナジラミに登録のある農薬<sup>\*</sup>を使った防除が効果的です
    - \*ダニゲッターフロアブル、アプロードエースフロアブル、ハチハチ乳剤/フロアブル等の効果が高い
  - ◆ 農薬散布量は400L/10aとし、葉裏に薬液がかかるよう丁寧に散布しましょう

## 6. 初めて発生を確認したときの心得

- ◆ チャトゲコナジラミと疑わしい虫を見つけたら、すぐに病害虫防除所、農業試験場、最寄りの農業改良普及センター等に相談してください
- ◆ チャトゲコナジラミは、挿し穂や苗の移動により分布が拡大します 発生地域からの挿し穂や苗の出荷はなるべく避け、やむを得ず出荷するときには、十分な対策を講じてください
- ◆ チャトゲコナジラミは増殖力が高いので、侵入を確認したら直ちに対策をとりましょう
  - ◆ 対応が遅れると、あっという間に密度が高くなります
  - ◆ 最初の対策としては、深刈りせん枝と丁寧な農薬散布が有効です

被害地域の拡大を防ぐため、ご協力をお願いします

問い合わせ先：



【編集 ミカントゲコナジラミ（チャトゲコナジラミ）研究推進連絡会】

農研機構野菜茶業研究所（金谷）（事務局：0547-45-4101（代））、京都府立大学（中核）、京都府農林水産技術センター茶業研究所、静岡大学、久留米大学、滋賀県農業技術振興センター茶業指導所、奈良県農業総合センター茶業振興センター、三重県農業研究所茶業研究室

2011年7月1日 改訂版